

山スクール T1 実技③大岩岳 A チーム報告書

実施日：6月8日（日） 9時 JR 道場駅集合

目的：読図研修

道場駅 9時集合

●地図読み練習

道場駅周辺で座学の時に調べた地図を元に読図の練習。

プレートコンパスを用いて正三角形の方位を取りに、元に戻ってこれるか等。

●歩幅計測

道場駅より少し離れた場所で歩幅計測の練習。50メートルを自身の足ならば何歩で歩いているのかを数え、自身の一歩は何cmなのかを計測。

●読図開始

大岩岳登山口よりプレートコンパスと座学で下書きした地図を用いて読図開始。

最初の地点でどちらに進むのか、方角は合っているのか。送電線の位置や近くの目印（川や斜面等）を教わりながら進む。時期的に葉が生い茂り送電線が見え難くなっているなどのトラップもあり。

自身の感覚と実際の距離感が違って、チェックポイントまで辿り着くのに時間がかかると通り過ぎてしまったのではないかと戻って確認する場面も。

先頭を歩く者をポイント毎に入れ替え、予定したコースを進む。途中で角や高圧線などが出てくると地図と位置を照らし合わせ、指差し確認しながら読図を行う。

風吹岩 11時15分

三角点 11時50分

湿原展望台 12時05分

休憩 12時半から15分

昼食休憩後、しばらく進むと道が不明瞭に。地図と照らし合わせながら進むが激下りのため、安全を優先してコンパスを仕舞うことに。

川沿いの道を足元注意と道迷いしないよう方向確認しながら慎重に下山。

千刈ダム 14時20分

貯水場 14時40分

道場駅 解散 15時

お疲れ様でした

読図を行うのが初めてであり、地図にコンパスを当て進んで行くことが楽しくあつという間に時間が経ちました。

低山だったため等高線の立て込みや上り下りが地図上では分かりにくかったので、今後学習を重ねていく必要を感じました。

そしていざという時には地図アプリのほうが手軽で早いことも実感。

地図アプリが使えなくなる状態を想定して知識として持っておけば、いざというときに役に立つ知識だと感じた。

暑い中教えてくださった講師の方々に感謝します。ありがとうございました。

A チーム記録係 松本有希子